

令和8年7月29日

令和8年度大豆生育定期調査結果 No. 2（7月21日現在）

岩手県農業研究センター 県北農業研究所 作物研究室 (TEL 0195-47-1073 FAX 0195-49-3011)

1 気象経過（図1）

- ・ 前回の調査（6月第4半旬）以降、平均気温は7月第1半旬までは平年並～やや低く、7月第2半旬以降は平年よりかなり高く推移した。
- ・ 日照時間は7月第3半旬を除き平年並～多かった。
- ・ 降水量は6月第5半旬と7月第3半旬で平年より非常に多かった。

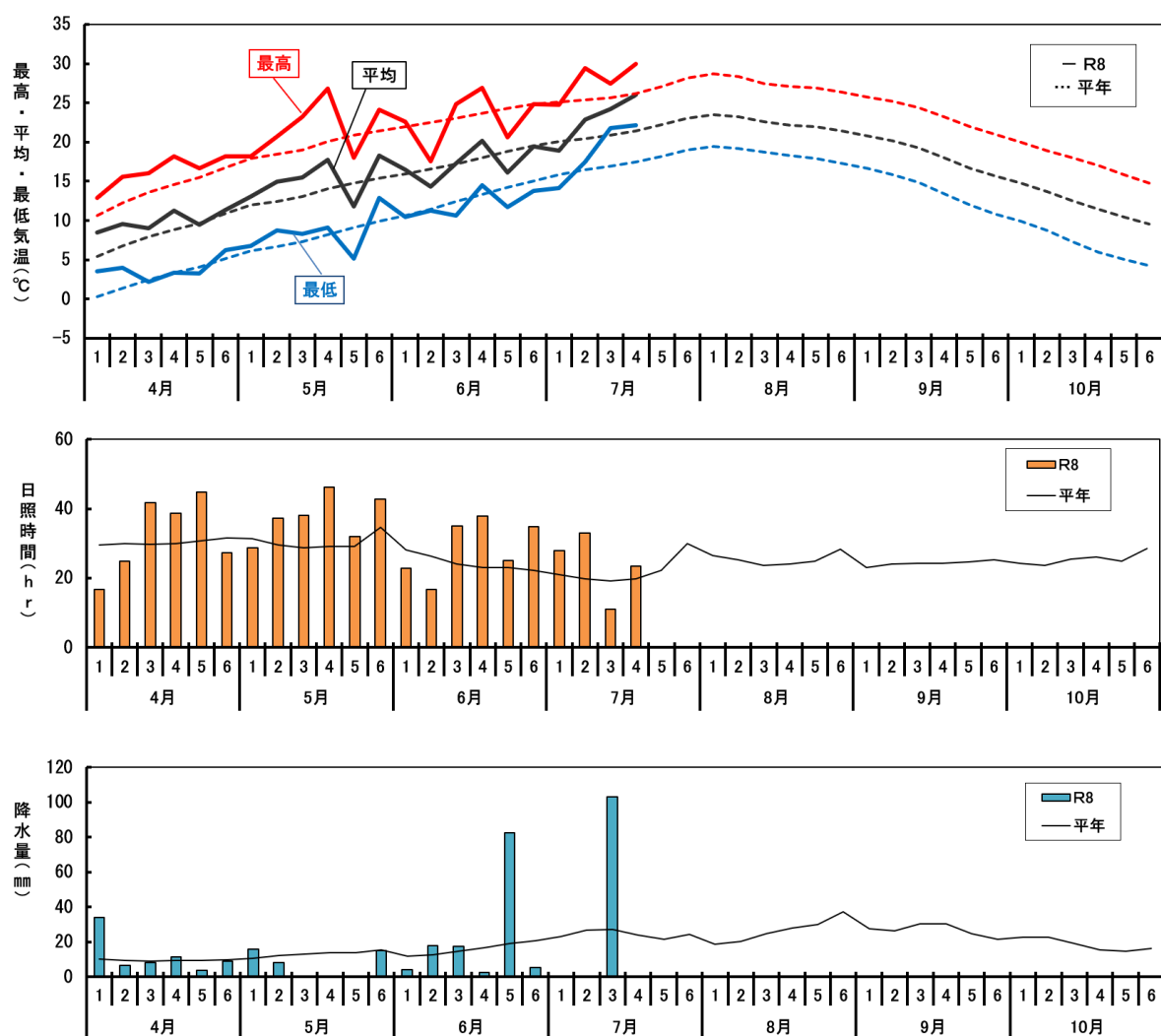


図1 令和8年 県北農業研究所における半旬別気象経過図（7月第4半旬まで）

※ 気温と日照時間は県北農業研究所気象観測値、降水量は軽米アメダス観測値

※ 平年はH9～R7の過去29カ年平均

2 生育概況（写真1、表1）

- ・ 7月21日時点の生育は、主茎長は「ナンプシロメ」が55.8cmと平年より5.7cm長く、「リョウユウ」が47.6cmと平年より2.5cm長かった。主茎節数は各品種ともに平年をやや上回り、分枝数は「リュウホウ」が2.9本/株と平年を1.0本/株上回り、他の品種は平年並であった。
- ・ 地上部乾物重は各品種ともに平年より重く、特に「リュウホウ」は231.8g/m²（平年比132%）、次いで「ナンプシロメ」は228.9g/m²（平年比126%）と平年を大きく上回った。
- ・ 6月19日時点では生育に遅れが見られたものの、7月第2半旬以降の高温多照により生育が平年に追いついたものと考えられる。

表1 各品種の生育調査結果

品 種	播種 年次	出芽に 要した 日数	6月19日			7月21日			
			主茎長 (cm)	主茎 節数 (節)	地上部 乾物重 (g/m ²)	主茎長 (cm)	主茎 節数 (節)	分枝数 (本/株)	地上部 乾物重 (g/m ²)
ナンプシロメ	R8	12	5.5	2.6	4.9	55.8	12.9	2.8	228.9
	平年値	9	10.6	3.5	8.3	50.1	12.0	2.9	182.3
	差・比	3	-5.1	-0.9	59%	+5.7	+0.9	-0.1	126%
シュウリュウ	R8	12	5.5	3.0	6.3	44.6	12.3	2.3	251.3
	平年値	9	9.2	3.3	11.7	44.3	11.6	1.9	217.0
	差・比	3	-3.7	-0.3	54%	+0.3	+0.7	+0.4	116%
リュウホウ	R8	15	3.8	2.6	6.0	44.8	12.3	2.9	231.8
	平年値	9	8.8	3.4	10.0	43.1	11.5	1.9	175.2
	差・比	6	-5.0	-0.9	60%	+1.7	+0.8	+1.0	132%
リョウユウ	R8	11	4.4	3.0	5.9	47.6	13.4	3.1	220.4
	平年値	10	8.9	3.5	9.6	45.1	12.8	3.1	193.0
	差・比	1	-4.5	-0.6	61%	+2.5	+0.6	±0.0	114%

※ 平年値はR3～R7の5ヵ年平均

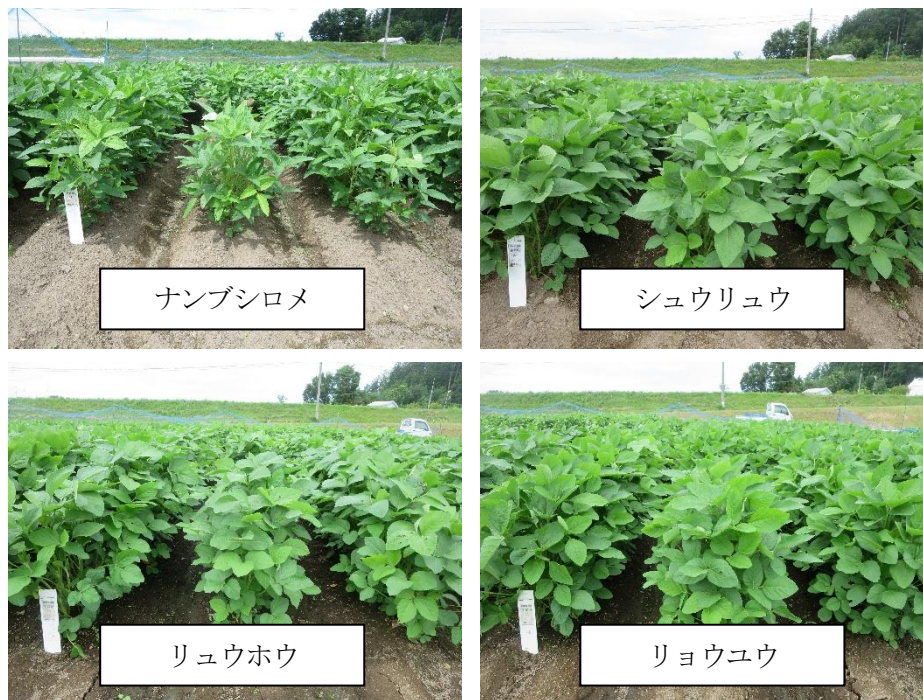


写真1 各品種の生育状況（7月21日撮影）

3 耕種概要

播種日：令和8年5月25日

栽植密度：14,286株/10a（畦幅70cm、株間10cm、1株1本仕立て）

施肥量（kg/10a）：N-P₂O₅-K₂O：3.0-9.0-7.5

堆肥：おがくず牛ふん堆肥 1,000kg/10a

雑草防除：ラクサー乳剤 薬液800mL/10a、希釈水量100L/10a（播種後出芽前）

病虫害防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前、塗沫処理）

トレボン乳剤 1,000倍（7月8日）

中耕培土：7月2日、7月21日